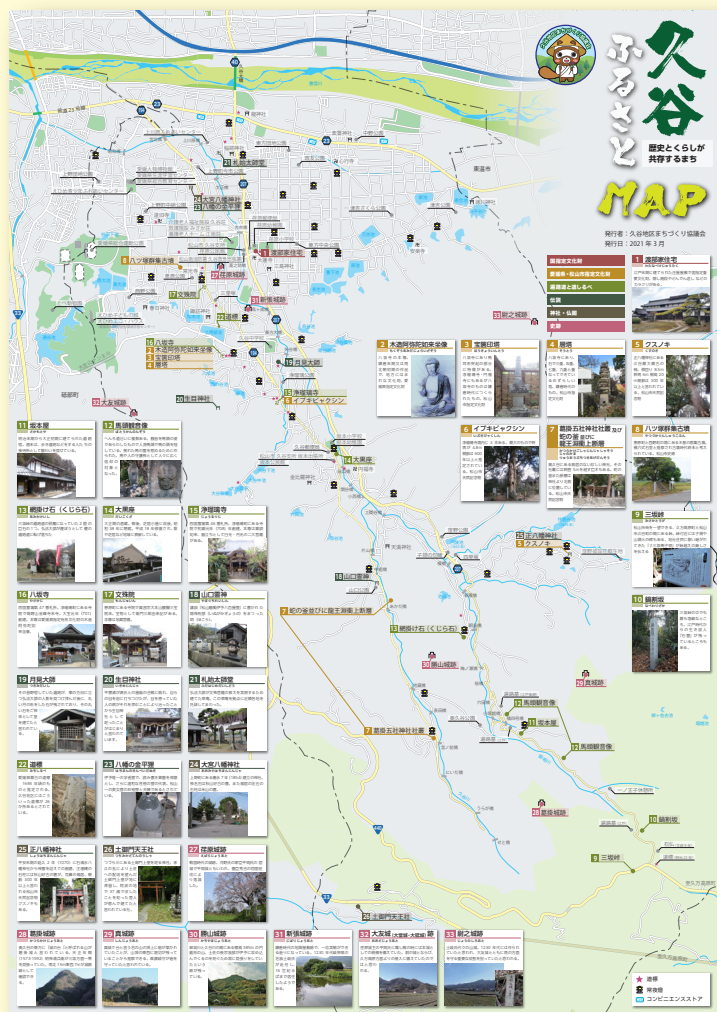




まちづくり通信 くたに

第9号
令和3年7月1日発行
久谷地区まちづくり協議会
発行責任者／野中 昭秀

久谷の史跡などをまとめた冊子とマップを発刊!!



久谷地区まちづくり協議会では令和2年度の事業の一環として、『くたにぶらり見て歩き (A5・32P)』ならびに『くたにふるさとMAP (B2・両面フルカラー)』を作成し、このほど発刊いたしました。担当の教育文化部は、『伝統行事や歴史的遺産を子どもたちに継承していくとともに、みんなで次世代の担い手を育てよう』をまちづくりの目標に掲げ活動しています。

この度の2誌の発行はその一環として、久谷中学校・荏原小学校・坂本小学校の児童生徒の皆様に見聞募集を行い「ふるさと久谷の良いもの・良いところ」や「未来に残したい久谷のこんな所」に声をお寄せいただきました。その中でとても多くの意見として挙がったのは、地図上に描くことが出来ない、久谷に住む人々の「思いやり」「優しさ」「お接待の心」であり、現在のコロナ禍の中でもとても大切な「他者を思いやる心」を久谷の子どもたちはきちんと持っていることを再確認することが出来ました。また、郷土史研究家の大森理氏にも監修作業を通し、大変お世話になりました。



久谷地区まちづくり協議会ホームページ開設!!

令和3年度久谷地区まちづくり協議会はホームページを立ち上げました。

これまで、協議会の情報発信として広報誌「まちづくり通信くたに」を年2回発行していますが、今後はSNSを活用した情報提供も併せて促進していきたいと思います。

また、リアルタイムに情報発信できるフェイスブックも立ち上げ、ホームページとリンクさせました。さらに他の団体ともリンクしていくことを考えています。

今後も多くの方々に久谷の魅力を発信していきたいと思います。

久谷地区まちづくり協議会

「久谷は一つ!」を合言葉に笑顔あふれる癒しの里づくり

協議会設立の目的 ▼ 組織 規約 まちづくり計画書 設立までのあゆみ まちづくり通信 地域資源紹介 久谷地区地図 地域行事



※ホームページアドレス <http://kutanimachikyoku.com>

国指定重要文化財「渡部家住宅」でお接待!!

令和3年4月4日、東方町にある「渡部家住宅」に「渡部家住宅お接待所運営委員会（会長：野中昭秀）」が久谷のお接待文化の継承や地域資源の情報を発信する拠点としてお接待所を開設しました。

この渡部家住宅は（一財）重要文化財渡部家住宅保護財団が所有するもので、理事長の渡部浩三氏が会の趣旨に賛同され実現する運びとなったものです。

お接待所は現在26名のボランティアで運営し、日曜日の10時から16時まで開設しています。

久谷地区のお接待所については、すでに「坂本屋運営委員会」が旧遍路宿坂本屋に開設し、これまで多くのお遍路さんに喜ばれています。



荏原・坂本地区の自主防災活動の報告!!

■ 荏原地区自主防災組織連合会

荏原地区自主防災組織連合会（会長：溝田盛和）では、毎年、市の地域ぐるみ防災支援事業交付金を利用し、防災対策用資機材を購入・備蓄しています。昨年は、新型コロナウイルスの影響を考え、避難所における避難者の3密を防ぐパーテーション（間仕切りカーテンシステム：8室）を購入しました。

また、昨年はコロナ感染防止のため地域合同防災訓練は中止しましたが、本部役員（約10名）でパーテーションを組立て、避難所運営訓練（仕切り・検温・消毒）を実施しました。コロナ対策を十分考慮しなければならない中、3密防止やプライバシーも確保され今後の避難所運営の取組み方法の確認ができたと思います。又、段ボールベッド（3台）も活用すれば高齢者・要支援者等に雑魚寝を強いることなく、環境改善が進むものと思います。



■ 坂本地区自主防災組織連合会

坂本地区自主防災組織連合会（会長：井口洋英）では、昨年度は年始より新型コロナの影響で活動の制限を余儀なくされる事になりました。毎年継続されてきた坂本地区の防災訓練もやむなく中止となり、その代わりとして役員のみによる学習会という形で実施させて頂きました。

自主防災会の役割とされる事は訓練等から災害時に役立つテクニックを学ぶという一面と、同時に大切な目的として災害時はもちろん平常時においても、もし災害が起こった時の自分のなすべき行動を理解し身に付けて頂く事だと考えております。

今、地球規模で災害が発生している状況にあります。

自主防災会としても皆さんそれぞれが防災意識をもって頂くような活動をしていけたらと思っております。



令和3年5月20日から避難勧告・避難指示が「避難指示」に一本化されました。警戒レベル4の「避難指示」が出されると「全員避難」です。必ず避難しましょう。これからも、地域と自主防災会が連携して、防災対策に取り組んで行きたいと思います。

愛媛県指定史跡荏原城跡東側土塁の災害復旧工事を実施!!

愛媛県指定史跡荏原城跡東側土塁の災害復旧工事を（公財）朝日新聞文化財団の文化財保護活動助成を受けて実施しました。

荏原城跡は、平成30年7月の西日本豪雨により、土塁斜面が崩落しました。今回の工事では、東側土塁の土砂撤去と樹木撤去を行い、かご枠を設置して土塁斜面を保護することができました。（恵原町町内会）

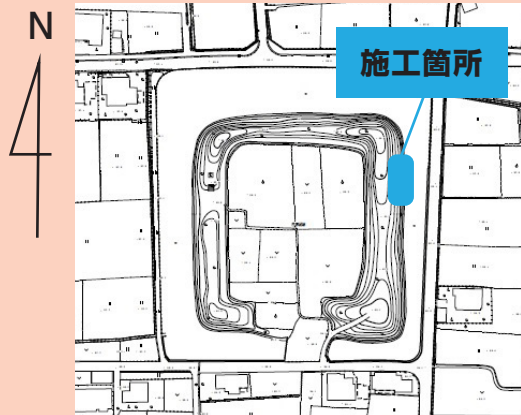
■ 荏原城跡って？

荏原城跡は、東西130m、南北120mの周りに堀をめぐらせた中世の城館跡です。堀の内側に土を盛り上げて造った土塁で四方を囲み、その中に館が建てられていたと考えられています。



築城年代はわかりませんが、建武2年（1335年）、忽那氏が「会原城」で戦ったという記録が文献に書かれており、この頃にはもう築城されていたことがわかります。

この城は、伊予の豪族河野氏の家臣平岡^{みちより}氏の居城で平岡城ともいわれ、天正13年（1585年）、平岡通倚のとき、豊臣秀吉の四国征伐により落城しました。



東側土塁被災状況(H30年7月12日)



東側土塁かご枠工事完成(R3年2月8日)

募

集

!!

「あなたの町の身近な話題」について紹介しませんか。

あなたの町の身近な話題（趣味活動やサークル活動外）を久谷の皆さんに紹介したいことがあれば、住所、氏名、電話番号を記入の上、写真を添え300字以内で応募して下さい。ただし、企業等の営業宣伝に利用するのは、ご遠慮下さい。

なお、紙面の都合で掲載されない場合もありますので、その場合はお許し願います。

宛 先

松山市東方町甲955番地 荏原公民館内
久谷地区まちづくり協議会

※荏原公民館にあるポスト又は事務所に届けて頂いても構いません。

一緒にまちづくりを企画し活動しませんか？あなたの手で魅力あるまちにしてみませんか？
ご連絡をお待ちしています!!

まちづくり参加者大募集!!

久谷地区まちづくり協議会

事務所：松山市東方町甲 955 番地 荏原公民館内
携帯電話：070-4343-2460